

【先行リリース】

2026年5月1日

担い手不足に挑む新稲作 労力 70%削減、“田植えをしない稲作”を 福島・浪江町で実証公開

担い手不足が深刻化する地域農業に対し、
株式会社ちーのは「育苗いらずのドローン播種」という新手法で挑みます。

田植えを行わないこの稲作では、労力を従来比約 70%削減。
2026 年度（令和 8 年度）は約 50 ヘクタール（東京ドーム約 10 個分）の
農地再生を開始。

株式会社ちーのは、ドローンを活用した新しい稲作手法の実証を公開します。
本取り組みでは、ドローンが連携し、

- ・ 播種
- ・ 肥料散布
- ・ 除草剤散布

を 3 機で同時実施。

従来の田植えとは異なる、“田植えをしない稲作”をご覧ください。

同社（本社：福島県双葉郡浪江町、代表取締役：ナカヤチ美昭）は、
地元のドローンサービス会社である「シガ環境メンテナンス株式会社」
（本社：福島県双葉郡富岡町大字上手岡字高津戸 200、代表取締役：志賀 洋一）と
連携し農業用ドローンを活用した「ドローン播種および追肥の連携実証」を開始します。

本取り組みは、農業用ドローン 3 機で行います。

まず 1 号機が「種もみ」散布をし、2 号機が追尾し「肥料散布」を行います。

さらに 3 号機が追尾し「除草剤散布」を行います。

これにより、播種から追肥までを一連の流れとして最適化し、実務負担の軽減と作業効率の向上を図り、地域農業の持続性向上を目指します。

取り組みの背景

農業現場では、**農業の収益性の低さ、後継者不足、耕作放棄地の増加**といった課題が深刻化しています。特に大規模な稲作においては、限られた人員で広い面積を安定的に管理する仕組みが求められており、省力化と高精度化を両立する新たな生産モデルの構築が急務となっています。

こうした背景を踏まえ、弊社は大型農業の現場で培ってきた運用力と、農業 DX の知見を掛け合わせ、ドローンを活用した播種および追肥の連携実証に取り組みます。更には地元ドローンサービス会社との協業により、地域に根ざしたスマート農業モデルを実装し、地域課題の解決につなげていきます。

実証の概要

従来の田植え・移植方式と比較して、労力を約 70%削減可能（従来比 1/3）と見込んでいます。また、2026 年度(令和 8 年度)は、担い手、後継者不足のほ場、約 50 ヘクタールを再生し、「営農再開」いたします。

少人数で広大な面積を管理できる体制を構築することで、農業現場の省力化と生産性向上を同時に実現します。

▼公開日

日程：2026 年 5 月 19 日（火）

※1 雨天及び強風は中止となります、ご了承ください。

※2 順延日は 20 日(水)もしくは 21 日(木)を予定

時間：10:00～12:00

【見学や取材ご希望の方は 9:45 に下記にお集まりください】

場所：福島県双葉郡浪江町 立野 BASE（「株式会社ちの」ほ場）

<https://maps.app.goo.gl/spsVXhYDjCHZtHxN7>

当日は、9 時頃 SNS でご案内予定です

https://www.instagram.com/chi_no.rice

<https://www.facebook.com/agri.chino>

実証で目指す効果

本取り組みを通じて、以下の効果を期待しています。

・実務労力の大幅削減

従来の田植え・移植方式と比較して約 70%の労力削減が進められる見込みです。

・播種から追肥までの一体最適化

ドローン同士の連携により、作業の精度とタイミングを高めます。

・地域課題への対応

収益性向上、後継者不足対策、耕作放棄地の活用促進に寄与します。

【使用ドローン機体】

・クボタ農業用ドローン T25

<https://agriculture.kubota.co.jp/product/drone/kubota-lineup/T25K.html>



・クボタ農業用ドローン T10

<https://agriculture.kubota.co.jp/product/drone/kubota-lineup/01.html?group=1&parent=MjY1NDk%3D>



・DJI 社

AGRAS T70P

<https://ag.dji.com/jp/t70p>



※画像は当日のイメージです

代表コメント

農地所有適格法人 株式会社ちーの 代表取締役：ナカヤチ美昭

「農業の現場では、収益性の確保と担い手不足への対応が大きな課題となっています。今回の実証は、単なる省力化にとどまらず、地域の農業を持続可能な形へ進化させるための取り組みです。地元企業と連携し、播種から追肥までを一体で最適化することで、現場負担を減らしながら、地域の農業を次世代へつなぐモデルをつくっていきます。」

今後の展開

弊社は今後も、農業用ドローンやDXデータ活用を軸に、現場の省力化と生産性向上に資する取り組みを進めていきます。今回の実証で得られる知見をもとに、他圃場や他地域への展開可能性を検討し、地域農業の持続可能性向上に貢献してまいります。

また、地域の関係機関や協力企業との連携を深めながら、農業の儲からなさ、後継者不足、耕作放棄地といった課題に対して、実効性のある解決策を提示していきます。

農業を次の世代へつなぐ責任を胸に、福島県浪江町・飯館村とともに、浜通りの営農再開に向けて『カッコいい農業』で日本の農業の未来を支えてまいります。

株式会社ちーのについて

- 本社所在地：福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字齊藤屋敷 40 番地 1
- 代表取締役：ナカヤチ 美昭
- 事業内容：水稻農業、畑作農業、実証事業・共同研究

シガ環境メンテナンス株式会社について

- 本社所在地：福島県双葉郡富岡町大字上手岡字高津戸 200
- 代表取締役：志賀 洋一

事業内容：福島復興に係る業務・ドローン事業

本件に関するお問い合わせ先

株式会社ちーの

https://www.instagram.com/chi_no.rice/

<https://www.facebook.com/agri.chino>

<https://www.chi-no.jp/>

担当：藪中裕美(やぶなかひろみ) 090.6007.4670

hiromi.yabunaka@chi-no.com